

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

9月

めん類製造

10月の麦価改定が10%アップと予定されていた幅より政策的に低く抑えられたため、麺製品への転嫁は難しい状況となっている。

製材

大手企業や都市部では新築着工戸数が一部増えたようだが、小売業者を中心とした顧客に販売している当市場は依然よくない。

組合は売上げが減少し、回収も長期化しており、資金繰りが厳しくなってきた。

印刷

9月は民間企業の半期決算の関係で受注が増えた組合員がある一方で、官公需の割合が多い組合員は、各自自治体の予算カットの影響を受けて売上げが下がっているようだ。9月からのインキの値上げは11月頃に変更になったが、刷版は各メーカーとも10月から値上がりする。組合員には価格上昇分の転嫁を指導している。

9月に千葉市内の2社が倒産し、浦安市では中堅企業が1社

業したそうだ。

生コン製造

このところ毎月同じコメントになるが、回復の兆しが見えず、期初予想を大中に下回る落ち込み。平成に入って最悪の状態が続いている。

電気鍍金

月ごとに景況は悪化してきている。材料等は高騰しても加工単価の値上げができない。

鉄工

当組合が独自に実施している「事業所動向調査」(今年度上半期)によると、大半の組合員で景況悪化しているとのこと、厳しい業況推移がうかがわれる。

採石

羽田空港のD滑走路工事が本格化する中で、当組合産のズリの出荷が増えている。

土砂採取

昨年5月から開始された羽田空港のD滑走路工事に伴い一部地域については、時限的に明るい兆しが見えているが、原油価格の高騰を受けて山砂運搬企業は大きな打撃をうけ、国、J Vと協議し燃油単価のスライド制を導入した。

また、各組合連名で公共団体及

び一般企業に対して骨材値上げの要望を出した。

石油製品製造

相変わらずの状況。組合の財務状況が悪化し、資金繰りがうまくいっていない。組合を脱退したいという組合員が出てきた。

食肉卸売

飼料等の高騰にもかかわらず牛乳の価格が据え置かれているため畜産農家の経営は悪化して、転廃業が増えている。

リサイクル卸

ごみ袋の値上げにより販売価格は上昇したが、それ以外の業務については変化なし。

建築材料卸売

建設関連はますます落ち込みの様相を呈しており、信用収縮が起こり、冷え切っている。下期、さらに来期もどのくらい落ち込むのか、回復のめどが全くたない。

自動車解体

悪い状況が続いている。

中古車販売

卸売市場はこれまで以上にハッキリとした選別仕人に傾いている。部分的限定の活況感で、動きの少ない展開である。

小売

ガソリン、原材料の値上げ等の影響で消費低迷が続き、売上げ減が止まらない。上旬から中旬まで気温が高かったこともあり、秋物の動きが鈍かった。さらに、後半は台風の接近により、客足が遠のいてしまった。

小売

高齢者の来店数が増加しているが、若年層は減少傾向にある。ファッショ性の高い商品は、新店の大型店や駅ビルに流れているようだ(10月2日に総延床面積36万4000㎡のイオンレイクタウンが越谷市にオープンした)。

農業機械販売整備

メーカー系列販社に広域化、集約化、合理化の動きが急。最後まで残っていたクボタも来年1月に千葉、埼玉、静神が合併する。他のメーカー系列販社も既に合併しており、県単位組合の存在意義が問われそうだ。

建設揚重

燃料費の高騰により、着工工事の減少で低迷状態が続いている。

自動車一般整備

原油価格の高騰による原材料費の値上げ、新車販売の減少により、景況は大変厳しい。転廃業する組合員がある。

遊覧船

レジャー関係施設であり、ガソリンの価格次第で客足が左右される状態だ。

土木建築サービス

県内市町村の平成19年度決算は歳出が3年ぶりに増加。普通建設事業費が6.5%増加となり、市町村にやや希望が持てる。廃業や倒産情報が時々入る。組合員数は今後も減少傾向にある。

建設

連合会加入組合員の国、県、市町村からの受注高は77億9000万円であった。これは前月比21億8500万円の大減、前年同月比でも3億1100万円の減少であった。

ソフトウエア

景況を悪化と答える組合員が増えている。

訂正

10月号の「パン製造」の報告で、「会食フェア」で給食用「こめ粉パン」の展示販売を行なった。という内容が、「食育フェア」で給食用「こめ粉パン」の展示及び配布を行なった。と訂正いたします。関係者および読者の皆様にはお詫び申し上げます。

鴨川

県内市町村の平成19年度決算は歳出が3年ぶりに増加。普通建設事業費が6.5%増加となり、市町村にやや希望が持てる。廃業や倒産情報が時々入る。組合員数は今後も減少傾向にある。

野田

高齢者の来店数が増加しているが、若年層は減少傾向にある。ファッショ性の高い商品は、新店の大型店や駅ビルに流れているようだ(10月2日に総延床面積36万4000㎡のイオンレイクタウンが越谷市にオープンした)。

千葉県・東京都

景況を悪化と答える組合員が増えている。

千葉県・東京都